

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成26年2月14日

**【四半期会計期間】** 第168期第3四半期(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

**【会社名】** 北海道瓦斯株式会社

**【英訳名】** HOKKAIDO GAS CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 大槻 博

**【本店の所在の場所】** 札幌市中央区大通西7丁目3番地1

**【電話番号】** 011-207-7250(直通)

**【事務連絡者氏名】** 取締役 常務執行役員 経理部担当 経理部長 堤 信之

**【最寄りの連絡場所】** 札幌市中央区大通西7丁目3番地1

**【電話番号】** 011-207-7250(直通)

**【事務連絡者氏名】** 取締役 常務執行役員 経理部担当 経理部長 堤 信之

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)  
証券会員制法人札幌証券取引所  
(札幌市中央区南1条西5丁目14番地の1)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第167期 第3四半期連結 累計期間	第168期 第3四半期連結 累計期間	第167期
会計期間	自 平成24年 4月1日 至 平成24年 12月31日	自 平成25年 4月1日 至 平成25年 12月31日	自 平成24年 4月1日 至 平成25年 3月31日
売上高 (千円)	54,496,478	60,088,653	83,942,478
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)	323,948	107,929	1,925,617
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失( ) (千円)	25,395	1,259,938	1,031,117
四半期包括利益 又は包括利益 (千円)	135,651	1,785,481	1,536,192
純資産額 (千円)	34,486,873	35,856,674	35,866,319
総資産額 (千円)	127,999,283	129,046,113	125,261,276
1株当たり四半期 (当期)純利益金額又は 四半期純損失金額( ) (円)	0.37	18.19	14.87
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)		14.31	13.06
自己資本比率 (%)	24.0	25.9	25.7
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	941,153	6,499,154	7,097,484
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	13,228,007	9,606,409	16,438,423
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	11,887,956	3,387,031	9,369,853
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	708,653	1,416,242	1,136,466

回次	第167期 第3四半期連結 会計期間	第168期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成24年 10月1日 至 平成24年 12月31日	自 平成25年 10月1日 至 平成25年 12月31日
1株当たり四半期 純損失金額( ) (円)	12.13	18.75

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 第167期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

（その他エネルギー）

第2四半期連結会計期間において、天然ガス自動車北海道(株)は平成25年7月に清算したため連結の範囲から除外しております。

（その他）

第2四半期連結会計期間において、(株)K Gプランニングは平成25年9月に清算したため連結の範囲から除外しております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当社グループは、安全高度化計画の着実な推進による保安の強化及びガスの販売拡大を中心として各事業分野において積極的な営業活動に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の都市ガス売上高は、ガス販売量の増加や原料費調整制度の影響等により14.6%増収となり、加えてガス器具の販売台数についても増加し、連結売上高は前年同四半期比10.3%増の60,088百万円となりました。

一方、お客さまに供給するガスの標準熱量の変更による原材料費の低減など、引き続き経営全般にわたる合理化、効率化を進めたものの、前第3四半期連結会計期間に石狩LNG基地が稼働し、見込んでおりました減価償却費等の基地運営経費や原料構成の変化による原材料費の増加等により、107百万円の経常損失(前年同四半期は経常利益323百万円)となりましたが、固定資産売却益等を特別利益に計上し、法人税等を計上した結果、1,259百万円の四半期純利益(前年同四半期は四半期純損失25百万円)となりました。

なお、当社グループの連結業績は都市ガス事業の占める割合が高く、冬季から春先にかけて多くの売上が計上されるという季節的変動要因があります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ガス

都市ガス販売量は、家庭用につきましては、前第3四半期連結累計期間に比べ6.1%増の84百万 $m^3$ となりました。業務用につきましては、同1.3%減の217百万 $m^3$ となり、他事業者向け供給を含めました総販売量は同0.9%増の305百万 $m^3$ となりました。売上高は、都市ガス販売量の増加、LNG販売収益の増加等により、同15.9%増の41,955百万円となりました。

セグメント利益は減価償却費等の基地運営経費や原料構成の変化による原材料費の増加等により同22.5%減の1,871百万円となりました。

#### LPG

売上高は、家庭用のLPG販売量の増加等により、前第3四半期連結累計期間に比べ4.8%増の5,009百万円となりました。

セグメント損失は原料費の増加等により54百万円となりました。

#### その他エネルギー

売上高は、石油事業の販売量が増加したこと等により、前第3四半期連結累計期間に比べ3.1%増の5,032百万円となりました。

セグメント損失は、熱供給の製造原価の増加等により136百万円となりました。

#### 工事及び器具

売上高は、家庭用の器具販売台数の増加、新設工事件数の増加等により、前第3四半期連結累計期間に比べ10.4%増の9,758百万円となりました。

セグメント利益は、売上の増加等により同219.2%増の216百万円となりました。

#### その他

売上高は、コンビニエンスストア向け店舗設備事業の終了等により、前第3四半期連結累計期間に比べ51.2%減の1,496百万円となりました。

セグメント損失は、売上の減少等により38百万円となりました。

- (注) 1 当社は平成25年9月1日からお客さまに供給するガスの標準熱量を変更しており、本書面では、ガス量はすべて変更後の1㎡当たり45メガジュール(10,750キロカロリー)で表示しております。
- 2 消費税等については税抜方式を採用しております。

## (2) 財政状態の分析

### (有形固定資産)

有形固定資産に関しては、石狩LNG基地の追加投資や経年ガス導管の入替投資等の新規投資額が減価償却費を上回ったこと等により、前連結会計年度末に比べて704百万円増加し98,373百万円となりました。

### (無形固定資産並びに投資その他の資産)

無形固定資産に関しては、ソフトウェア等の新規投資額が減価償却費を上回ったこと等により、前連結会計年度末に比べ65百万円増加し2,307百万円となりました。また、投資その他の資産に関しては、時価評価による投資有価証券残高の増加等により、前連結会計年度末に比べ541百万円増加し9,245百万円となりました。

### (流動資産)

流動資産は、原材料及び貯蔵品の増加等により、前連結会計年度末に比べ2,601百万円増加し19,078百万円となりました。

(繰延資産)

主に、都市ガス事業の天然ガス転換に係る費用を繰り延べ計上している繰延資産は、償却が進んだことにより、前連結会計年度末に比べ127百万円減少し42百万円となりました。

(負債)

固定負債は、普通社債の発行等により、前連結会計年度末に比べ5,618百万円増加し66,831百万円となり、流動負債は、短期借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,824百万円減少し、26,357百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、利益剰余金は増加したものの、連結子会社の株式の追加取得に伴い少数株主持分が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ9百万円減少し、35,856百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前第3四半期連結累計期間末に比べ707百万円増加し、1,416百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益の増加、仕入債務の増減額の増加等により、前第3四半期連結累計期間に比べ5,558百万円増加し、6,499百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出の減少等により、前第3四半期連結累計期間に比べ支出額が3,621百万円減少し、9,606百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の純増減額の減少、コマーシャル・ペーパーの純増減額の減少等により、前第3四半期連結累計期間に比べ8,500百万円減少し、3,387百万円の収入となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は128百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	160,000,000
計	160,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	69,787,180	69,787,180	東京証券取引所 (市場第一部) 札幌証券取引所	単元株式数は1,000株であり ます。
計	69,787,180	69,787,180		

(注) 提出日現在発行数には、平成26年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	69,787,180	-	5,039,330	-	2,799,095

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 532,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 68,679,000	68,679	
単元未満株式	普通株式 576,180		
発行済株式総数	69,787,180		
総株主の議決権		68,679	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式712株及び証券保管振替機構名義の株式400株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 北海道瓦斯株式会社	札幌市中央区大通 西七丁目3番地1	532,000	0	532,000	0.76
計		532,000	0	532,000	0.76

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)及び「ガス事業会計規則」(昭和29年通商産業省令第15号)に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
製造設備	23,290,924	21,975,381
供給設備	46,326,115	44,417,590
業務設備	10,405,622	10,068,630
その他の設備	16,194,416	16,327,501
建設仮勘定	1,451,506	5,583,969
有形固定資産合計	97,668,584	98,373,074
<b>無形固定資産</b>		
その他	2,241,929	2,307,142
無形固定資産合計	2,241,929	2,307,142
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	3,628,641	4,388,784
繰延税金資産	673,715	666,380
その他	4,455,265	4,229,916
貸倒引当金	53,773	39,871
投資その他の資産合計	8,703,849	9,245,211
固定資産合計	108,614,363	109,925,428
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,250,466	1,551,254
受取手形及び売掛金	<sup>2</sup> 9,386,711	<sup>2</sup> 9,576,406
商品及び製品	425,944	372,400
原材料及び貯蔵品	1,878,328	4,619,844
繰延税金資産	795,304	794,613
その他	3,168,212	2,527,344
貸倒引当金	428,361	363,756
流動資産合計	16,476,604	19,078,107
<b>繰延資産</b>		
開発費	170,308	42,577
繰延資産合計	170,308	42,577
資産合計	125,261,276	129,046,113

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
固定負債		
社債	24,000,000	29,000,000
転換社債型新株予約権付社債	5,000,000	5,000,000
長期借入金	26,471,174	27,085,804
再評価に係る繰延税金負債	1,093,796	1,064,147
退職給付引当金	3,196,897	3,285,647
ガスホルダー修繕引当金	152,084	182,295
保安対策引当金	258,739	154,715
熱供給事業設備修繕引当金	277,247	196,819
その他	763,503	862,545
固定負債合計	61,213,442	66,831,975
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	4,597,832	5,515,152
支払手形及び買掛金	3,460,289	5,146,810
短期借入金	5,351,709	1,845,000
コマーシャル・ペーパー	7,000,000	8,000,000
その他	7,771,683	5,850,500
流動負債合計	28,181,514	26,357,463
負債合計	89,394,956	93,189,438
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,039,330	5,039,330
資本剰余金	2,799,095	2,799,095
利益剰余金	22,659,837	23,248,388
自己株式	134,531	140,012
株主資本合計	30,363,732	30,946,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,022,449	1,557,717
土地再評価差額金	806,704	923,906
その他の包括利益累計額合計	1,829,154	2,481,624
少数株主持分	3,673,432	2,428,248
純資産合計	35,866,319	35,856,674
負債純資産合計	125,261,276	129,046,113

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	54,496,478	60,088,653
売上原価	31,461,719	39,480,545
売上総利益	23,034,759	20,608,108
供給販売費及び一般管理費		
供給販売費	19,399,338	17,876,276
一般管理費	2,833,691	2,540,883
供給販売費及び一般管理費合計	22,233,030	20,417,160
営業利益	801,728	190,947
営業外収益		
受取利息	5,631	1,067
受取配当金	51,572	100,018
その他	350,192	390,113
営業外収益合計	407,396	491,200
営業外費用		
支払利息	582,128	572,981
その他	303,047	217,095
営業外費用合計	885,176	790,077
経常利益	323,948	107,929
特別利益		
固定資産売却益	-	1,223,310
負ののれん発生益	-	547,859
子会社清算益	-	135,048
特別利益合計	-	1,906,217
特別損失		
投資有価証券評価損	184,229	-
特別損失合計	184,229	-
税金等調整前四半期純利益	139,718	1,798,288
法人税、住民税及び事業税	112,791	573,295
法人税等調整額	34,711	24,988
法人税等合計	147,503	548,307
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	7,784	1,249,980
少数株主利益又は少数株主損失( )	17,611	9,957
四半期純利益又は四半期純損失( )	25,395	1,259,938

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	7,784	1,249,980
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	145,957	535,085
繰延ヘッジ損益	2,669	-
持分法適用会社に対する持分相当額	148	415
その他の包括利益合計	143,436	535,500
四半期包括利益	135,651	1,785,481
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	118,152	1,795,207
少数株主に係る四半期包括利益	17,498	9,725

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	139,718	1,798,288
減価償却費	7,583,359	8,314,397
繰延資産償却額	255,740	127,731
投資有価証券評価損益(は益)	184,229	911
有形固定資産売却損益(は益)	10,936	1,222,300
負ののれん発生益	-	547,859
子会社清算損益(は益)	-	135,048
保安対策引当金の増減額(は減少)	283,336	104,023
関係会社整理損失引当金の増減額(は減少)	158,475	-
退職給付引当金の増減額(は減少)	32,266	88,749
貸倒引当金の増減額(は減少)	168,120	78,506
受取利息及び受取配当金	57,204	101,086
支払利息	582,128	572,981
売上債権の増減額(は増加)	142,462	88,833
たな卸資産の増減額(は増加)	3,565,673	3,026,218
仕入債務の増減額(は減少)	1,492,425	856,186
未払消費税等の増減額(は減少)	1,285,032	505,494
その他	579,033	88,802
小計	2,813,975	6,872,061
利息及び配当金の受取額	57,442	101,086
利息の支払額	615,212	575,408
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	1,315,052	101,414
営業活動によるキャッシュ・フロー	941,153	6,499,154
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(は増加)	35,176	21,011
有形固定資産の取得による支出	14,071,279	10,331,051
有形固定資産の売却による収入	1,985,098	2,160,449
無形固定資産の取得による支出	551,669	588,758
投資有価証券の取得による支出	99,993	-
投資有価証券の売却による収入	100	6,436
子会社株式の取得による支出	66,567	697,600
子会社の清算による収入	-	114,247
長期前払費用の取得による支出	308,150	274,230
短期貸付金の純増減額(は増加)	98,586	17,600
その他	18,217	42,708
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,228,007	9,606,409

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	5,085,107	3,506,709
コマーシャル・ペーパーの純増減額（は減少）	5,000,000	1,000,000
長期借入れによる収入	6,500,000	5,050,000
長期借入金の返済による支出	4,537,230	3,499,347
社債の発行による収入	-	4,975,380
社債の償還による支出	5,000,000	-
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	4,858,408	-
少数株主からの払込みによる収入	600,000	-
配当金の支払額	557,558	557,735
その他	60,771	74,557
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,887,956	3,387,031
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	398,897	279,776
現金及び現金同等物の期首残高	791,698	1,136,466
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	315,852	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	708,653	1,416,242

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
連結の範囲の重要な変更 経営資源のエネルギー事業への集中並びに天然ガス自動車事業の内製化を目的に、天然ガス自動車北海道㈱は平成25年7月に、㈱K Gプランニングは平成25年9月に清算終了したため、連結の範囲から除外していません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
1 税金費用の計算 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)						
前第3四半期連結会計期間に石狩LNG基地が稼動しておりますが、当該設備の一部については東銀リース株式会社が所有しております。また、当該設備を北海道LNG株式会社が賃借しており、オペレーティング・リース取引として会計処理しております。 なお、当第3四半期連結会計期間末日における解約不能の未経過リース料は以下のとおりであります。						
当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">1年以内</td> <td style="text-align: right;">1,072,680千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td style="text-align: right;">8,492,050千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">9,564,730千円</td> </tr> </table>	1年以内	1,072,680千円	1年超	8,492,050千円	計	9,564,730千円
1年以内	1,072,680千円					
1年超	8,492,050千円					
計	9,564,730千円					

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

(1) 当社及び連結子会社北ガスジェネックス㈱は、従業員の金融機関からの住宅資金借入に対し連帯保証を行っており、その金額は次のとおりであります。

前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
15,994千円	9,398千円

(2) 石狩サービス㈱の清算により個人向リース機器のT&Dリース㈱に対する連帯保証を承継しており、その金額は次のとおりであります。

前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
34,502千円	29,392千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日及び当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が、期末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	7,327千円	724千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 売上高の季節的変動

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

当社グループは、事業の性質上、連結会計年度の第1四半期及び第2四半期と第3四半期及び期末の売上高及び、営業費用に著しい季節的変動があります。

その主な要因は、都市ガス事業等の第3四半期及び期末における暖房用ガスの需要増等、寒冷地の地域特性によるものであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に記載されている科目の金額との関係

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
現金及び預金	851,265千円	1,551,254千円
預入期間が3か月を超える定期預金	142,612千円	135,011千円
現金及び現金同等物	708,653千円	1,416,242千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月28日 取締役会	普通株式	277,482	4	平成24年3月31日	平成24年6月6日	利益剰余金
平成24年10月30日 取締役会	普通株式	277,471	4	平成24年9月30日	平成24年12月3日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの  
 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月28日 取締役会	普通株式	277,100	4	平成25年3月31日	平成25年6月4日	利益剰余金
平成25年10月30日 取締役会	普通株式	277,084	4	平成25年9月30日	平成25年12月2日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの  
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	ガス	LPG	その他エ ネルギー	工事及び 器具	計				
売上高									
外部顧客への売上高	34,512,460	4,776,358	4,737,538	7,724,455	51,750,812	2,745,666	54,496,478		54,496,478
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,676,870	1,521	145,881	1,117,851	2,942,125	318,969	3,261,094	3,261,094	
計	36,189,331	4,777,880	4,883,420	8,842,306	54,692,938	3,064,635	57,757,573	3,261,094	54,496,478
セグメント利益又は損失 ( )	2,415,291	25,954	133,551	67,951	2,590,839	4,389	2,586,450	1,784,722	801,728

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、照明機器等販売、不動産、及び保険代理業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 1,784,722千円には、セグメント間取引消去131,195千円、持分法による投資損益7,765千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用 1,908,152千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	ガス	LPG	その他エ ネルギー	工事及び 器具	計				
売上高									
外部顧客への売上高	39,980,358	5,008,567	5,032,498	8,876,812	58,898,237	1,190,415	60,088,653		60,088,653
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,975,493	443	63	882,087	2,858,086	305,824	3,163,910	3,163,910	
計	41,955,851	5,009,011	5,032,562	9,758,899	61,756,324	1,496,240	63,252,564	3,163,910	60,088,653
セグメント利益又は損失 ( )	1,871,521	54,583	136,530	216,931	1,897,339	38,478	1,858,860	1,667,913	190,947

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産及び保険代理業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 1,667,913千円には、セグメント間取引消去55,991千円、持分法による投資損益21,037千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用 1,702,867千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

### (重要な負ののれん発生益)

「その他エネルギー」セグメントにおいて、連結子会社の株式を追加取得したことに伴う負ののれん発生益を特別利益に計上しております。なお、当該負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては547,859千円であります。

### (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失( )	0.37円	18.19円
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	25,395	1,259,938
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	25,395	1,259,938
普通株式の期中平均株式数(株)	69,367,373	69,269,216
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	円	14.31円
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		4,103
(うち支払利息(税額相当額控除後)(千円))		(3,769)
普通株式増加数(株)		19,083,969
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	第3回無担保転換社債型新株予約権付社債(額面総額5,000,000千円)を平成24年9月25日に発行しております。	

(注) 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## 2 【その他】

第168期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)中間配当については、平成25年10月30日開催の取締役会において、平成25年9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議し、配当を行っております。

中間配当による配当金の総額	277,084千円
1株当たりの金額	4円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成25年12月2日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 2月14日

北海道瓦斯株式会社

取締役会 御中

仰星監査法人

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 南 成 人 印

業務執行社員 公認会計士 新 島 敏 也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている北海道瓦斯株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、北海道瓦斯株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。